

第10回 文教厚生常任委員会

開催日	令和5年8月7日（月曜日）	
開催場所	粕屋町役場 3F 32会議室	
開催時間	9:30～11:09	
出席者	議員	井上委員長・宮崎副委員長・本田委員・久我委員 田川委員・福永委員・古家委員
	事務局	松永係長・隈元主任主事
欠席者	なし	
協議事項	<p>協議事項</p> <p>1) 行政視察に関すること</p> <p>○福岡市の不登校生徒への取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none">・福岡市中学校 69校にステップルーム（スペシャルサポートルーム）が置かれ、教育相談コーディネーター67名（離島を除く）が配置。 <p>教育相談コーディネーターは不登校対応専属の教員で、教科担当を持たず生徒と関わり、小中学校を含む学校内外の関係者・機関との連携を担う。</p> <ul style="list-style-type: none">・福岡県では、不登校児童生徒支援のリーフレットを配布し、支援する教育センター、民間団体や施設、親の会ネットワークなどを紹介している。・粕屋町にないのは、専任の教育コーディネーター・民間団体・親の会などである。 <p>○文部科学省が把握している不登校児童生徒の実態調査によると勉強がわからなくなったことや、初期段階での早期支援が大切なことがわかる。</p> <p>○厚生労働省の資料で、令和4年度の「児童生徒の自殺」では、高校生に多く、学校での問題に起因している。さらに家庭環境にも問題がある。</p> <p>学校では、勉強がわからないことに起因しているので、学習支援が必要なのではと思った。</p> <p>そこで日本財団では、「子ども第三の居場所」プロジェクトで学習支援を行っている。日本全国に広がっていて、福岡県では久留米市や水巻町がある。関東地方の戸田市（埼玉県）は財団が支援してうまくいっている。</p>	

協議事項

協議

- ・学校の受け皿と家庭の環境が絡んでくるが、社会的に増えている不登校を解決していきたい。行政が施策を行ったところを視察したい。
- ・粕屋町の不登校の内情・原因・家から出られない子どもなどをもう少し調査してから視察を行えばいいのでは。
- ・粕屋町の不登校生徒の実態を調査しながら、先進事例を視察などで研修していく必要がある。
- ・福岡市など近いところで視察を行い勉強したら、粕屋町の足りないところがわかる。
- ・現在、粕屋町では人員不足、場所、保護者支援ができていないことがわかっているので、そこを再調査しながら近隣都市と戸田市の両方を視察できたらいいのでは。
- ・粕屋町で困っていることの話聞くのが先では。情報はネットでも取れる。
- ・これまでどのような取り組みをやってきたかを聞くのは視察に行かないとわからない。
- ・予算をどうつけるかは、行政の仕事である。

まとめ

- ・福岡市に視察に行くので、9月定例会の時に各議員が質問事項を考えておくこと。
- ・常任委員会で、予算の確保や配分について提案していく必要がある。

2) 町立幼稚園、保育所未来プロジェクト提言書に関すること

協議

- ・保護者への丁寧な説明は行われたのか。
 - ・町長の公約と違うところがあるので、町長に説明してもらいたい。
⇒一般質問へ
 - ・令和5年3月の資料（素案）をもとにパブリックコメントを出しているので、関係のある保護者へ丁寧な説明をしたのか尋ねたい。⇒一般質問
- 9月議会で、パブリックコメントの結果を執行部に報告してほしい。

2、その他

- ① 子ども議場見学会の反省
- ② 委員会の開催時間について（基本的には午前中）
- ③ 福岡市など近隣都市への視察の経費や報告書について
 - ・視察は旅費が出るが公用車でいくと旅費が出ない。